

夙川座9月公演

シリーズ
文学×音楽
Vol.5

ヤマトタケル

古事記列伝
その一

ヤマトは国のまほろば たたなづく青垣 山どもれる ヤマトし麗し

原作：『古事記』『日本書紀』 出演
音楽：シユールベルト、ドニゼッティ、ヤマトタケル・田中良和(テノール)
フォーレ他 オトタチバナヒメ・末廣早苗(ソプラノ)
脚本・作詞・演出：伊佐山紫文 クマソタケル/山の神・福嶋勲(バリトン)
企画・主催：夙川座 ヤマトヒメ・浅川文恵(ソプラノ)
後援：大阪音楽大学同窓会《幸楽会》 ピアノ：白藤望

『古事記』のドラマチックな物語をオペラに！
ヤマトタケル……

国家統一の武将か、侵略者か。知略の勇者か、卑怯者か。
我が古代最大の英雄にして、苦悩する人の子、ヤマトタケル。
その生涯と宿命をクラシックの名曲で歌い上げます。
皆様お誘い合わせの上、心を洗いにお越し下さい。

平成28年(2016年)9月22日(祝)

会場：大丸心齋橋劇場(大丸心齋橋店北館14階)

〒542-8501 大阪市中央区心齋橋筋1-7-1 TEL:06-7711-7600(10時~18時)

開場：14:30 開演：15:00 全席自由

入場料 3,500円(前売り3,000円)

入場券の発売は定員になり次第終了します。完売の場合、当日券の販売はいたしません。ご了承下さい。

お問い合わせ・ご予約

夙川座：0798-(55)-8297 (浅川) 090-(6980)-5702 (伊佐山) E-mail shukugawaza@gmail.com

<http://notebook.ko-co.jp> (オンラインチケットサービスはこちらから)

チケットぴあ(Pコード298801)

e+ (イープラス「ヤマトタケル」で検索下さい)

大丸心齋橋劇場 TEL:06-7711-7600(10時~18時、窓口販売のみ)



円広志さん、夙川座を激賞！関西テレビ放送の『よ〜いドン!』の取材を受け、円広志さんに激賞され、夙川座は「となりの人間国宝さん」に認定されました！



田中良和(テノール ヤマトタケル)

大阪音楽大学大学院修了。
 在学中より、マリオ・コシツク指揮ドヴォルザーク室内オーケストラ来日公演でソリストを務める他、山下一史指揮オペラハウス管弦楽団との公演やプラハ・スークホール室内楽公演等に出演。モーツァルト、ドニゼッティのオペラ作品や、交声曲におけるソリストとして各地に客演。
 また、日本音楽の演奏、紹介に積極的で、マレーシア、インド、スロヴァキア他での公演にも関係する。現地演奏家とのコラボレーション等、ジャンルを越えた演奏も多い。2011年リサイタル、2014年出石永楽館オペラ「夕鶴」企画、出演。最近では戦国オペラ「本能寺が燃える」に出演を続けている。
 この他、合唱指揮者、講師、ディナーショー、ラジオ出演等、その活動は多岐に渡る。



福嶋勲(バリトン クマソタケル/山の神)

大阪音楽大学卒業。オペラをはじめ宗教曲や合唱曲のソリストとして多くの舞台に出演を重ね、近年では特に日本歌曲の分野で高い評価を得ている。藤井清水音楽コンクール第1位最優秀賞、《波の会》日本歌曲コンクール第1位および四家文子賞、奏楽堂日本歌曲コンクール第1位および中田喜直賞、木下記念賞など受賞。平成27年度和歌山県由良町文化功労賞受賞。関西二期会会員、神戸市混声合唱団団員。



末廣早苗(ソプラノ オトタチバナヒメ)

大阪芸術大学大学院研究科芸術制作専攻博士課程前期修了。
 田中公道、樽谷昌子の各氏に師事。
 『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ役でオペラデビュー。その後、『フィガロの結婚』スザンナ役で出演。この公演は、平成22年度大阪文化祭奨励賞を受賞。『カルメン』ミカエラ役、『ラ・ボエーム』ムゼッタ役、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ役で出演。
 第11回日本演奏家コンクール一般の部第3位入賞。第16回KOBEL国際音楽コンクールC部門奨励賞受賞。
 関西歌劇団正団員。



浅川文恵(ソプラノ ヤマトヒメ)

夫の転勤で付いてきた関西で、子育て、老親介護の真っ只中に大阪音楽大学短期大学部声楽科に入学。そして大人げない優秀な成績で卒業。
 その後、昨年2月脚本、作詞の伊佐山紫文氏と発足した夙川座の一応名前は座長。 栢本淑子氏に師事。



白藤望(ピアノ)

大阪音楽大学ピアノ専攻ピアノ演奏家特別コース卒業。在学中に助成金を得てウィーン国際音楽セミナーを受講し、ディプロム取得。推薦され、ハイドンの生家にて演奏。奈良県新人演奏会、泉の森フレッシュコンサート、南あわじ音楽祭、しまなみ音楽祭、その他多数コンサートに出演。大阪チェンバーオーケストラとモーツァルトのピアノ協奏曲を共演。現在、ソロやアンサンブルで幅広く演奏活動を行なっている。



伊佐山紫文(脚本・作詞・演出)

角川書店『ライフステーション』編集部デスクを経てフリーに。小説、評論、戯曲、ルポなど著書多数。音楽劇では与謝野晶子の恋を描く『祇園の夜』(平成10年)、九州の伝説をもとにした『二人の鬼』(平成22年)、大人のコメディ『フィガロの決戦!』(平成26年)、『恋の名残 新説・曽根崎心中』(平成28年)などが代表作。現在、夙川座座付作家。